

評価規準の設定

「**評価規準**」とは、観点別学習状況の評価を的確に行うため、学習指導要領に示す目標の実現の状況を判断するよりどころを表現したもの。

- 目標に対する児童生徒の学習状況を把握するために必要不可欠です。
- 目標に対して、「おおむね満足できる（B）」の学習状況を評価規準とします。
- 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を活用しましょう。



ダウンロードできます。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」

<https://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/sidou-hyouka-siryou.html>

単元の評価規準を設定し、評価計画及び展開計画を作成する

- 学習指導要領及び学習指導要領解説などにおける、内容のまとまりの記載事項を踏まえて単元の評価規準を作成します。～『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 参照～
- 下表は、第3学年の太陽と地面の様子（全11時間）の単元の評価規準の例です。
下表には、観点別にそれぞれ評価規準を示しています。

【単元の評価規準】 小学校3学年の理科「太陽と地面の様子」（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること理解している。 ②地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあることを理解している。 ③太陽と地面の様子との関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	①太陽と地面の様子との関係について、差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現するなどして問題解決している。 ②太陽と地面の様子との関係について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	①太陽と地面の様子との関係についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②太陽と地面の様子との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

- 上表には、7つの評価規準があります。次に、この7つを展開計画に分配していきます。

【指導と評価の計画】

- 全11時間の授業の中で、7つの評価規準をどのように分配していくのか計画します。
- 単元の評価計画を単元の展開計画と合わせて作成していきます。
- 全11時間の中で、何時間目にどの観点のどの評価規準を設定し、どのような方法で評価するのか計画を立てます。

単元の指導計画（例） 小学校3学年の理科「太陽と地面の様子」

時	学習活動	本時の評価規準	評価の方法
1	○屋外に出て影の写真を撮り、撮影した写真を比較し、問題を見出す。	<思考・判断・表現の④> 差異点や共通点を基に、問題を見出すことができている。	【記述分析】 問題を見い出せているかを確認する。
2	○問題を設定する 【問題】かげはどのようなところにできるのだろうか。	<知識・技能の③> 椅子などを用いて、太陽の位置と影との関係を調べ、影の形や長さ、向きなどを分かりやすく記録している。	【記録分析】 影の形や長さ、向きなどを分かりやすく記録しているかを確認する。
3	○影ふみを午前と午後の2回行い、時間を変えて行った影ふみの写真を比較し、自分なりの問題を見出す。 ○どのようにしたら影ふみがより上手にできるか話し合う。	<思考・判断・表現の④> 2回の影踏みの差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現している。	【発言分析】 【記述分析】 問題を見出し、表現しているかを評価する。
(省略)			
10	○これまで学習したことをまとめ、影ふみのコツを考え、「かげふみブック」を作成する。	<知識・技能の①と②> ①日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること、②地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿りに違いがあることを、これまでの学習とつなげて理解している。	【記述分析】 ①と②を、これまでの学習とつなげて理解しているかを評価する
11	○作成した「かげふみブック」を参考に、再度影ふみをする。 ○「かげふみブック」を見直す。	<主体的に学習に取り組む態度の②> 太陽と地面の様子との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【行動観察】 【記述分析】 学習や生活に生かそうとしているかを評価する。

【評価の実際（例）】（第3時）本時の評価規準

新大分スタンダードの視点「習熟の程度に応じた指導」

第3時の評価規準

2回の影踏みの差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現している。

具体的にする ↓

- ・時刻と影の位置、長さに着目して、問題を記述している。
- ・影の長さや位置の変化に、疑問を感じた記述をしている。等

A児
「かげの位置は、時間によって変わっているのだろうか」

「おおむね満足できる状況」と評価

B児
「木がゆれたら、かげもゆれるのか」

「努力を要する状況」と評価

もう一度写真を比較させ、2枚の写真から差異点や共通点を基に問題を見出すよう支援を行う。